

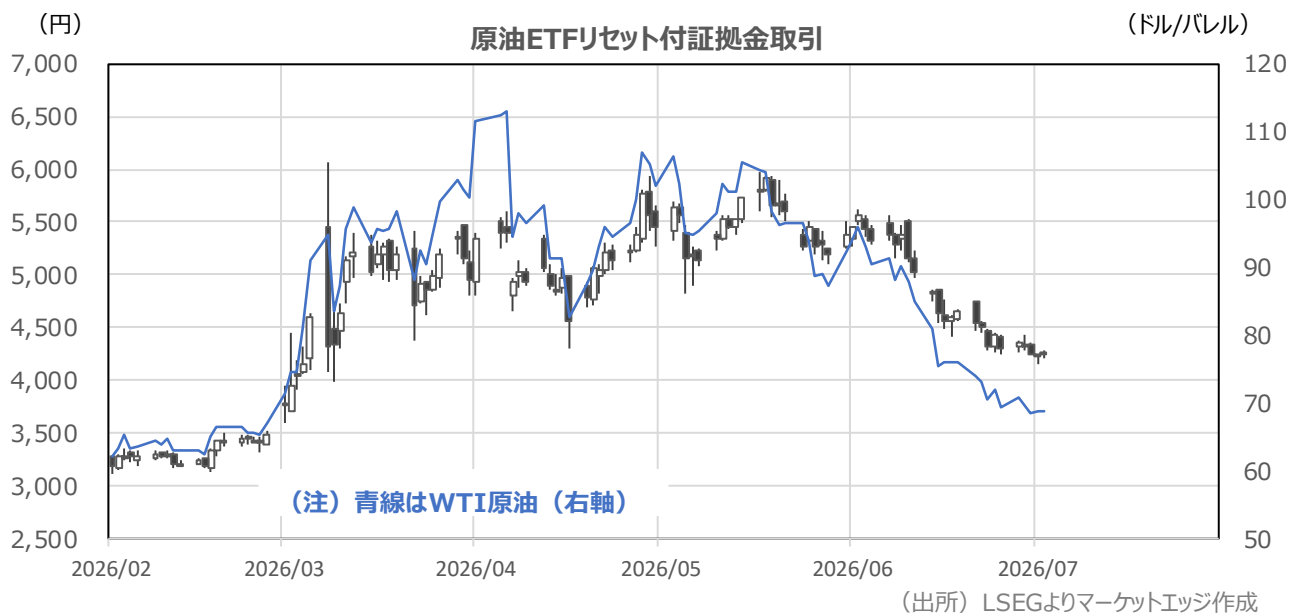
# 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2026/07/06号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



## 【現状確認】



## 4カ月ぶりの安値更新、サヤもフラット化

NY原油先物相場は、1バレル=68ドル台後半まで値下がりした。供給環境の改善を織り込む展開が続き、70ドルの節目を明確に割り込んだ。米国とイランとの間で攻撃の応酬が行われていたが、ホルムズ海峡の再封鎖といった最悪の展開に発展することは回避された。米国とイランの間では戦闘終結に関する覚書を巡って間接協議が行われており、両国関係は良好とはいえないが、改めて供給不安を高めるような動きはみられなかった。2月27日以来の安値を更新しており、おおむねイラン戦争勃発時の価格水準に回帰している。

また、WTI原油のサヤ（限月間スプレッド）はほぼフラット化した。7月2日終値では、8月限の68.69ドルに対して、9月限が68.65ドル、10月限が68.56ドルとなった。期先限月に対する期近限月のプレミアムの解消が進んでいる。逆サヤ（期近高・期先安）は維持されているが、価格と同様にサヤ環境も、イラン戦争勃発時の状況に回帰しつつある。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（6月26日時点）は、原油が前週比378万バレル減、ガソリンが233万バレル減、石油精製品が248万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

## 【展望】

### 上値の重さが維持される、供給改善状況を見ながらの展開

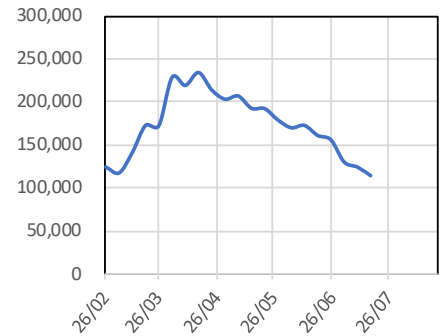
中東からの供給環境の改善傾向が続くのであれば、上値の重い展開が続く見通しだ。ホルムズ海峡を巡っては依然として大きな不確実性を抱えているが、タンカーの通航報告も増えており、湾岸諸国からの供給量が増えている可能性が高い。今後は徐々に消費地にも新たなカーゴが届き始め、在庫トレンドは減少から増加に転じる見通しだ。サウジアラビアからの超大型タンカー（VLCC）の出航も複数報告されている。70ドル割れでも押し目買いを入れるような動きは鈍く、値動きは鈍化しつつも、下値模索の展開が続きやすい。

すでにイラン戦争勃発時の価格水準に回帰し、サヤのフラット化で期近限月のプレミアム解消もほぼ終了した。このため従来と比較すると急落地合を形成する可能性は後退する。しかし、ファンドは依然として高水準の買いポジションを保有しているとみられ、買い玉整理が広がると65ドル水準を試す可能性も想定しておく必要がある。逆サヤから順サヤに移行する可能性も排除できない。

一方、中東情勢はまだ安定化しているとは言い難い。ホルムズ海峡周辺でイランによる船舶攻撃、それに対する米国の報復攻撃など緊張感を高める動きがみられれば、70ドル台回復の余地もある。

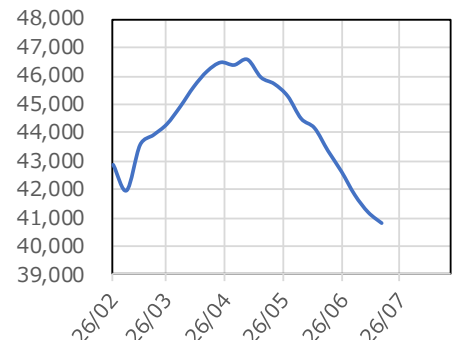
最近の傾向としては、改めてホルムズ海峡が封鎖されるリスクの織り込みには慎重姿勢が目立つが、それだけに想定外の大きな混乱がみられた際には、短期的には急伸する可能性がある。引き続き米国とイラン、さらにイスラエルなどの動向には注意が必要だ。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



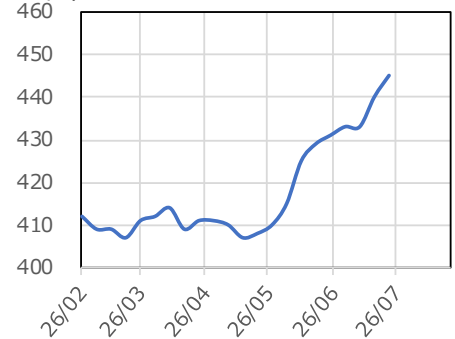
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

## 【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒104-0033 東京都中央区新川1-3-21 BIZ SMART 茅場町 321号

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 [info@marketedge.co.jp](mailto:info@marketedge.co.jp)

## 小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は  
ツイッターで

